

日本国際JLPT—日本語能力試験文法リスト
(Powered by jlpt.info, copyright reserved 2007)

GRAMMER TEST FORM

| 語彙 | 語意 | 用例 | ランク |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|-----|
| AあつてのB | AがあるからこそBがある。AがなければBもない。 | どんなに有名でも、お客様あつてのお店です。 あなたあつての私です。 どうかお身体を大切に。 私が今日こうして活躍できるのも先輩のご支援あつてのことです。 今の安定した生活も若いときの苦労あつてのもです。 | |
| ①Aいかに/では/によっては B、BはAいかにだ | ①Aがどうであるかによって、B。 ②Aがどうであるかに関係なく、B | 成績が伸びるかどうかは本人の今後の努力いかにだ。 検査の結果いかにでは、手術するかもしれない。 法務省の考えいかにで、ビザが発給されるかどうかが決まる。 結果のいかにかわらず、必ず報告してください。 | |
| ②Aのいかにによらず/かかわらずB | | *2級—53「A次第だ/次第で/次第ではB」と類似。 | |
| ①Aう(意向形)が/とB | | 彼が困ろうが、私には関係がない。 他人がどんなに迷惑しよう自分には関係ないというのはあまりにも勝手だ。 親が反対しようしまいと、私は彼と結婚します。 彼が来ようが来まいが、時間になったら出発します。 レコードが売れようが売れまいが関係なく彼は自分の作りたい音楽を作り続けた。 | |
| ②Aう(意向形)がAまいが/Aう(意向形)とAまいとB | ①AでもB。②Aでも、Aなくても、B。 | *Iグループ書く→書くまい IIグループ食べる→食べるまい、食べまい 見る→見るまい、見まい IIIグループする→するまい、すまい、しまいく(来)る→くるまい、こまい 仕事が終わらないから、帰ろうにも帰れない。 宿題が多すぎて、遊ぶにも遊べない。 テレビがこわれているから、見ようにも見られない。 びんのふたは固くて開けようにも開けられなかった。 突然指名されたが、何も考えていなかったの、答えようにも答えられなかった。 | |
| Aう(意向形)にもA(可能形)ない | 何かの理由があつて、意志があつてもAできない。 | *可能形を使うので、無意志動詞は使えない。 誤用例×ビルの2階からは、階段がなければ、落ちようにも落ちられない。 こんなに盛大な結婚式を挙げることができて、うれしい限りです。 たったひとりの肉親だった姉を亡くして、さびしい限りです。 言葉がわからない外国で暮らすのだと思うと、心細い限りでした 彼がスピーチを始めたが最後、長々と話が続いて終わらない。 彼女に秘密を話したが最後、クラス中の人に知られてしまうよ。 相手の弱みを知ったが最後、彼はどこまでも相手を攻撃する。 獲物をくわえたが最後、猛獣はそれを放そうとしなかった。 | |
| A限りだ | 最高にAだ。 | *Bは悪い結果。 散歩かたがた、買い物をする。 先日のお礼かたがた、お見舞いに行く。 お見舞いのお礼かたがた、退院の報告に行く。 旅行かたがた、母の育った故郷を訪ねた。 結婚の報告かたがた、恩師を訪ねた。 | |
| A(た)が最後B | もしAしたら、Bという結果になり、もう止められない。 | *2級—63「AついでにB」、1級—9「AがてらB」と類似。 彼は勉強のかたわら、アルバイトをしている。 彼女は本業のかたわら、劇団に入って活動している。 彼は小説を書くかたわら、作詞もしている。 私は外資系の会社で働かたわら、夜英語を教えています。 彼は日本語学校で勉強するかたわら、スーパーでアルバイトをしている。 | |
| AかたがたB | AのついでにBをする。AをかたがたBをする。 | *職業や仕事、勉強などについて、1つでなく同時にほかのこともしているということを表すときに使われる。 Aは本業で、Bは副業になる。 *名詞+の+かたわら【傍ら・旁・側】 遊びがてら、建設中の別荘を見に行こう。 夕涼みがてら、蛍(ぼたる)を見に行つた。 家が近いですから散歩がてら遊びに来てください。 夕涼みをしがてら、花火を見る。 お墓参りがてら、ドライブに行つた。 | |
| AかたわらB | Aと同時にCの合間にBをする。 | *2級—63「AついでにB」、1級—7「AかたがたB」と類似。 先生が「今日の授業はここまでです」と言うが早いか、林さんは教室の外へかけ出した。 冷蔵庫を開けるが早いか、猫は餌をもらえろと思って、とんでくる。 ベルが鳴るが早いか、彼女は受話器を取つた。 玄関の戸を開けるが早いか、犬はかけ出して行つた。 | |
| AがてらB | Aしながら/のついでにBをする | *動詞(辞書形)+が早いか *2級。 60「Aたとたん(に)B」、1級—88「Aや/や否やB」と類似。 10キロからある巨大なかぼちゃが実つた。 ここから東京までは、100キロからある。 彼には借金が1000万円からある。 | |
| Aが早いかB | AするとすぐBする。 | | |

集会には、1000人からの人たちが集まった。
ダイヤモンドは高価なものになると、1000万円からする。

Aからある

A以上ある

*Aには量や長さ、距離を表す数が入る。

*「A+からの」という形で、「A以上の」という意味を表すこともある。
(4番目の例文)

*「A円からする」という形で、金額がA以上の高額であることを表すこともある。
(最後の例文)

彼は人の話を聞かないきらいがある。
あの人は上司がいないと、なまけるきらいがある。
うちの子は偏食のきらいがある。
日本の会社は社員を採用する際、これまで学歴を重視するきらいがあった。

Aきらいがある

Aという傾向がある。

*名詞+の+きらいがある
*よくない傾向があるときに使われる。

彼のしたことは、卑劣極(きわ)まる。
彼の態度は、失礼極まりない。
彼の生活は徹夜マージャンに深酒と不健康極まりない。
感極まって泣き出した。
(感情が極限まで高まる。)

A極まる/極まりない

非常にAだ。(Aを強調)

*極限状態に達するという意味でも使われる。
(最後の例文)

*悪いことに使われることが多い。

*「極まりない」は否定形だが、意味は「極まる」と同じ。
国民の惨状を知らぬがごとく支配者は貧乏の限りをつくしていた。
津波が発生し、山のごとき大波に村はのみこまれてしまった。
王者のごとき振舞いに人々は反感を抱いた。
君ごとき、若造に何ができる。
私ごときに、そんな大役は、とてでもできません。

Aごとき/ごとく B。

Aのような/のようにB。

*ちょっと古い表現。

【如き】
*「が(強調)+ごとき/ごとく」の形もある。
(最初の例文)

*「人+ごとき」という形で、「人」が他者の場合は軽蔑、自分の場合は謙遜を表す
一病気療養中のことと同窓会には残念ながら欠席させていただきます。
10年ぶりのこととて、すぐにはわからなかった。
休み中のこととてご連絡が遅れ、たいへん失礼いたしました。
まだ引越してきたばかりのこととて、どこに店があるのか見当がつかない。

AこととてB

AなのでB。Aという事情があってB。

*ちょっと古い表現。

相手のプライドを傷つけることなしに忠告することは難しい。
日曜日も休むことなしに働いた。
お互いに人の心を傷つけることなしに共同生活ができたらしいのに。
せっかく新築した家は転勤のため一度も住むことなしに人に貸すことになった。

AことなしにB

AしないでB。

*動詞(辞書形)+ことなしに

「ひとりである」と言っていたのに、結局は助けを求める始末だ。
あの子は小さいころから親の悩みのたねだったが、ついに家出までする始末だった。
コレクションも度が過ぎて最近では自分の寝る場所もなくなる始末だ。
事業を始めたが失敗して借金だけが残る始末だった。

A始末だ

結局、A(悪い結果)になってしまった。

*動詞(辞書形)+始末だ

異ずくめのファッションが流行した。
結構ずくめのおもてなしだった。
楽しいことずくめの学生生活だった。
この学校は規則ずくめで本当にいやになる。

Aずくめ

すべてAばかりである。

*名詞+ずくめ【尽くめ】

*2級-62「Aだらけ」と類似。

神は罪を犯したものには罰を与えずにはおかない。
命がけで主人を守った盲導犬の話は人々を感動させずにはおかなかった。
彼ほどの選手であれば、どのプロ野球球団もスカウトせずにはおかないだろう。
鋭い鑑定眼を持つ彼のことだから、どんなにせものも見破らずにはおかない。

Aずにはおかない

必ずAする。

*1級-50「Aないではおかない」と類似。

私が悪かったのだから、あやまらずにはすまないと思う。
学校の規則を破った私は、反省文を書かずにはすまないだろう。
1週間も待ってもらったのだから今日こそはっきり返事をせずにはすまないだろうぞ
彼に返済能力がないなら、連帯保証人である私が返済せずにはすまないだろう。
会社に莫大な損害を与えたのだから、辞表を出さずにはすまない。

Aずにはすまない

Aしないで、終わらない、許されない。

*1級-51「Aないではすまない」と類似。

あの子は、自分の名前すら書けない。
子どもですらできる問題です。
お金がなくて、明日の生活すらどうなるかわからない。
先生ですらわからない難しい問題だ。
入院したことは、親にすら知らせなかった。

Aすら/ですらB

AさえB。(強調)

*1級-25「AだにB」、2級-48「Aさえ/でさえB」と類似。

彼は私が教えるそばから、忘れそしまう。
うちの頃は、消すそばから落書きされる。
春の雪は冬の雪と違って、降るそばからとけてしまっ、積もらない。
この木の実実は赤くなるそばから、鳥に食べられてしまう。

AそばからB

Aするとすぐ、B(Aしたことの効果がすぐBで、消えてしまう)。

*動詞(辞書形)+そばから

あの会社は、ただ学歴のみを評価する。
ただ女性のみが子どもを産むことができる。
多くの会社に履歴書を送った。
あとはただ返事を待つのみだ。
彼はただ外見のみならず、性格もいい。

**①ただAのみ②
ただAのみならず**

①ただAだけ。②ただAだけでなく。

あの人に頼んだところで、どうにもならないでしょう。
急いで行ったところで、もう間に合わない。

AたところでB

Aしても、B。(逆接)

何回やったところで、勝てないよ。
相手が強すぎるんだから。
私がアドバイスしたところで、彼は聞かないだろう。
彼のことは、もうすっかり忘れた。
夢にだに見ない。
子どものころお化けは想像するだにおそろしかった。
あの火事の夜のことは思い出すだにおそろしい。
宝くじで1000万円当たるとあって、想像だにしなかった。(考えたこともなかった)

AだにB

AさえB

*Aには「考える」「想像する」「思い出す」などの言葉が入り、そうした観念的な世界でさえ、Bなのだから、現実や実際の場面ではさらにBであることを言うときに使う。
Bは「おそろしい」「つらい」などのマイナスの感情に使われることが多い。
(2、3番目の例文)

Aたりとも

たとえAであっても。

*1級-2「Aすら/ですらB」と類似
目上の方との待ち合わせには、1分たりとも遅れてはならない。
父から送金してもらったお金は、1円たりとも無駄にはできない。
遭難した船員たちは一時たりとも希望を捨てなかった。
入試まであと3日。1秒たりとも無駄にはできない。
ここで釣りをしているところを発見された人は何人たりとも告訴されます。

Aたるもの(者)B

Aならば当然/Aなのだから/Aである以上B。

*Aには、数量を表す言葉が入る。

*現代語では、やや文語的な言い方として用いられる
教育者たる者が、飲酒運転をするなど許せない。
国会議員たる者は、国民の幸せを一番に考えなければならない。
「男たる者、女の前で涙は流せない」と彼は強がりを行った。
医者たる者は、患者の秘密を守るべきだ。

Aつつ

①2人がお互いに、したりされたりする様子。②AたりBたり(A、Bは反対語)。

*Aは人を表す言葉が入る。
古い表現。

*資格を表す。…であるところの
ゴール目前でトップを争い、抜きつ抜かれつ激しいレースになった。
同僚と差しつ差されつお酒を飲んだ。
(差しつ差されつ、お互いにお酒をすすめながらなごやかに飲む様子を表す慣用表現)
Aさんと私の成績は毎回抜きつ抜かれつで、お互いにいいライバルだ。
道に迷って行きつ戻りつするうちに、何とか目的地に着いた。
(行きつ戻りつ:前へ行ったり後ろへ戻ったりとなかなか前へ進まない状態を表す慣用表現)
*1、3番目の例文は競争関係を表す。
玄関のドアを開けっぱなしにしないでください。
虫が入ってくるから。
ゆうべはいつものまにか寝てしまったから、一晩中電気がつけっぱなしだった。
彼の悪いところはいつも新聞を読みっぱなしにして片づけないところだ。
主人は日曜大工が趣味なのはいいが、いつも道具を出しっぱなしで、片づけない。
窓を開めっぱなしにして、何十人もの学生が勉強しているから、教室は空気が悪い。
英国ではたとい女王であれ税金を払わなければならない。
お金持ちであれ悩みはある。
男であれ女であれ、不況の今は就職することは難しい。
戦時中は芋であれ何であれ、食べるものがあればそれで満足だった。

Aっぱなし

Aの状態を続けておく。Aをそのままにしておく

①Aであれ②AであれBであれ

①Aでも。②AでもBでも。

*名詞+であれ
祖母が死んでからというもの、祖父はお酒ばかり飲んでいる。
新しいサッカーボールを買ってもらってからというもの、あの子はサッカーばかりしている。
先日ゴルフをしてからというもの、日ごろの運動不足がたたって体が痛くてしかたがない。
漢方薬を飲みはじめてからというもの、体調がいい。
彼女に対する気持ちが、愛でなくて何だろう。
最近、とてもさびしい。
これがホームシックでなくて何だろう。
彼女のことを考えるとドキドキする。
かれが恋の病でなくて何だろう。
救出の遅れが今回の災害を大きなものにした。
これは人災でなくて何だろう。
これが不当な解雇でなくて何だろう。

AてからというもののB

AをきっかけにB(以前と違う状態)になった。

*「Aだ」と断定しないで、文学的に表現している。

*2級-112「Aに相違ない」、2級-115「Aに違いない」と類似。
忍者ではあるまいし、人が突然消えてしまうことなんてないだろう。
どこかにかかっているんだよ。
赤ちゃんではあるまいし、自分のことは自分でしなさい。
学生時代じゃあるまいし、1か月も旅行するなんて無理だよ。
すぐ飛んでこいと言ったって、スーパーマンじゃあるまいし
事業の成功を祈ってやまない。
友人の病気がよくなることを願ってやまない。
卒業生の活躍を期待してやまない。
ご病気のご回復の1日も早いことを願ってやみません。
全員無事救出されることを祈ってやまない。

Aでなくてなん(何)だろう

A以外考えられない、Aだ

*丁寧に言うときは「～てやみません」(4番目の例文)
昨日は日曜だったので、好天と相(あい)まって人出が多かった。
今年のクリスマスイブは土曜日と相まって、街は例年以上にぎわっている。
CMソングのヒットと相まって、その商品は飛ぶように売れた。
ストーリーのおもしろさが人気アイドルの出演と相まって、このドラマは高視聴率をあげている。
性能のよさとデザインの優美さが両々相まって本機種の声価を高めています。

*Aは省略されることも多い。
(3番目の例文)
名詞+と相まって
オリックスが優勝したとあって、地元神戸の人たちは大喜びだった。
今朝(けさ)は寒かったとあって、出勤する人たちは皆、厚いコートを着ている。
サンタクロースを一目でも見たいとあって、クリスマスの夜には子どもは寝ようとしていない。

AではあるまいしB

Aではないのだから、B。

Aてやまない

「祈る」「願う」「期待する」などに続けて、それを強調する表現法

(A)、Bと相まって、C

AとBの2つのことが重なって、Cというよい結果になる。

①AとあってB②AとあればB

①AのでB。Aという理由でB。
②AならB。

(AとあってはB)

社長の命令とあっては、聞かないわけにはいかない。
この病気が治るとあればなんでもやってみようと思います
そのレストランは料理といいサービスといい申し分なかった。
その兄弟は兄といい弟といい親孝行で働き者だった。
新居は床といい壁といい、とても上質な材料が使っている。
立地条件といい価格といい私たちの希望していた条件にぴったりだ。

AといいBといい AもBも。

*名詞+といい
*2級-110②「AにしろBにしろ」と類似。
りんごをいただいたからみんなで分けよう。
ひとり5個ずつというところかな。
最近はどうなアルバイトでも時給750円というところだ。
あの歌手のコンサートなら、S席でも5000円といったところだろう。
私の成績ではその大学には、合格ラインぎりぎりといったところだろう。
親といえども、子どもの将来を勝手に決めることはできない。
老いたといえども、ライオンは百獣の王としての誇りを持ち続けた。
日本では親しい仲といえども礼儀を重んじている。
医者といえども(現代の医学では)まだ治せない病気がたくさんある。
犯罪者といえども、私たちと同じ人間だ。

**Aというところだ/
といったところだ**

だいたいAぐらいだ。

AといえどもB

AでもB。AけれどもB。

*【とさえども・と雖も】
彼は不潔だといったらありやしない。
風呂は1か月に1回だそうだ。
このアパートは不便だといったらありやしない。
近くに商店もないし、駅も遠い。
最近のテレビ番組はつまらないといったらありやしない。
見たい番組が全然ない。
こんなに急いでいるときに車が故障してしまうなんて、腹立たしいといったらない。

**Aといったらな
い/といったらあ
りはしない(あり
やしない)**

とてもAだ。(強調)

*悪いことによく使われる。
*会話で使われる。
就職の面接で、うまく答えられなかったので、不採用と思いきや、採用の通知が来た。
先生に呼ばれたので、またしかられると思いきや、めずらしくほめられた。
田中先生が作るテストだから難しいと思いきや、案外やさしかった。
こんな田舎に住むのは不便だと思いきや、近所の人が親切で「住めば都」だった。
(住めば都:どんな所でも住み慣れると、楽しい所になる)
私の母ときたら、心配性なものだから、毎晩国際電話をかけてくる。
私の通っている日本語学校ときたら、コピー1枚で20円もとる。
うちの子ときたら、朝から晩までテレビゲームをしている。
最近の若者ときたら、礼儀も知らない。

Aと思いきやB

Aと思ったが違ってBだった。

AときたらB

AはBだ。

*あまりいい話題のときではない。
*【と来たら】
つまみ食いしているところを母に見つかってしまった。
午後の授業をさぼって帰ろうとしているところを先生に見つかってしまった。
もう少しで車にひかれるところでした。
危ないところを助けていただきありがとうございます。
本日はお忙しいところを私たちの結婚式にご出席いただき、ありがとうございます。
おやすみのところ、ご迷惑さまですが、切符を拝見させていただきます。
父としたところで、私にいつまでも家にいてほしいと思っていたわけではないが、その結婚には反対だった。
彼としたって、彼女が仕事をするのは、反対ではなかった。
ゴリラにしたところで、家事だけに専念するのは退屈だった。
ゴリラにしたって狭い檻の中に閉じこめられているのはさぞストレスがたまるとは違いない。
*Aは人または人に準じるもの。
*2級-86②「Aとして/としては/としても」と類似
操作がこんなに複雑だとは思ってもみなかった。
彼が犯人だとは、夢にも思わなかった。
あの2人が結婚することになるとは、思いもよらなかった。
日本の冬がこんなに寒いとは、思わなかった。
4月に雪が降るとは、考えもしなかった。

AところをB

①Aという状態、場面、状況をB。
②Aのに、B。(相手に感謝やおおむねの気持ちを表す慣用表現)

**Aとしたところで/
としたって/にし
たところで/にし
たってB**

AとしてもB。AにしてもB。AでもB

*【と】の働きを強めた表現。「予想—違う結果が出た」
4月になったとはいえ、まだ寒い日もある。
静かだとはいえ、山の中の一軒家には住めない。
娘は20歳とはいえ、まだまだ子どもです。

Aとは

Aが予想外のことで、驚いて。

. フランス語が話せるとはいえ通訳はできません。
*2級-79「AといってもB」と類似。
*【接】とは言うものの」に同じ。「彼は不満らしいとはいえ、全く反対でもない」

AとはいえB

AだけれどもB。

*【とは言え】
けさ驛に乗るとき、早く動とばかりに後ろの人に押されてこるんでしまった。
日曜日にには妻は早く起きるとばかりに、掃除機をかけはじめた。
スーパースターのA誌写真をとるとばかりに、掃除機をかけはじめた。
スーパースターのA誌写真をとるとばかりに、カメラのレンズをふさぎ、だ。
卒業式の校長先生の挨拶のとき担任の先生は私語はやめるとばかりに、こ指を立てて合図した。

AとばかりにB

A(しろ/するな)というようにB。

*命令/禁止の形+とばかりに【許りに】
ショーウィンドウを見るときもななしに見ていたら「何かおさがしですか」と、店員に声をかけられてしまった。
ラジオを聴くともなく聴いていたら、懐かしい曲が流れてきた。
ファッション雑誌を読むともなくページをめくっていると、きのうデパートで見た服と同じ服が載っていた。
テレビを見るときもななしにつけていたら、臨時ニュースが飛びこんできた。
寝るともなしにベッドに横になっていたら、いつの間にかぐっすり眠ってしまった。
人気歌手ともなると、ファンが騒ぐので、自由に外出もできない。
東大卒ともなれば、言うことが違う。

**Aともなく/ともな
しに(していると/
していたら)**

無意識にAしている。

Aともなると/ともなれば

Aになるとやはり。「も」は強調。

子どもも4歳ともなれば、自分のことは自分でできるようになる。
4月ともなるとさすがに暖房はいらなくなる。

*名詞+ともなると/ともなれば
こんな美しい景色を画家の彼女に見せたら、きっとスケッチしないではおかないだろう。
買い物好きの彼女のことから、イタリアへ行ったら靴やバッグをたくさん買わないではおかないだろう。
彼女はマイケル・ジャクソンの大ファンだ。
コンサートの切符はどうしても手に入れないではおかないと思う。
彼は率直な性格だから、思ったことは口に出さないではおかないよ。

Aないではおかない

必ずAする。

*1級-19「Aずにはおかない」と類似。
多くの人に迷惑をかけたのだから、あやまらないではすまないだろう。
ここは借地なので契約の期限がくれば立ち退かないではすまない。
借りたお金は返さないではすまない。
私はひとりっ子だから、両親の老後の面倒は私がみないではすまない。
家のローンを返済していくためには、しばらく共働きをしないではすまない。

Aないではすまない

Aしなくてはならない。

*1級-20「Aずにはすまない」と類似。
富士山の頂上までは登れないまでも、せめて途中までは登ってみたい。
次のテストでは満点はとれないまでも、90点以上はとりたい。
今日は快晴とはいえないまでも、いい天気だ。
億万長者だとはいえないまでも、彼はかなりのお金持ちらしい。
お世話になったあの方へ十分とはいえないまでも、私なりに精一杯のお礼をしようと思う。

AないまでもB

Aほどではないが、Bほどではある。

一生懸命働けばマイホームが手に入らないものでもない。
どうしても歌ってくれというなら、歌わないものでもないですが、じょうずじゃありませんよ。
もう少し条件をよくしてくれれば、この会社で今後も働かないものでもないが、今のままならやめる。
今すぐは無理だが、リハビリをすれば歩けるようにならないものでもない。
もう少し相手に誠意があれば、交渉に応じないものでもない。

Aないものでもない

Aしないわけではない。Aすることもあり得る。

ヘレン・ケラーは生まれながらに目も見えず耳も聞こえず口も聞くことができなかつた。
今回の事故で子どもを失った母親は涙ながらに子どもへの思いを語った。
容疑者は涙ながらに、自分の無実を訴えた。

Aながらに

Aとともに。Aの状態のまま

*【乍ら】動詞・動詞型活用語の連用形に付く。二つの動作状態が並行して行われる意を表す

AながらもB

AなのにB。AしてもB。AにもかかわらずB。(逆接)

彼はまだ小さいながらも、きちんと挨拶する。
狭いながらも楽しいわが家。
子どもながらも両親の不仲に小さな胸を痛めていた。
(不仲:仲が悪いこと)
田舎での生活は不便ながらも、自然に囲まれていて毎日がすがすがしい。

Aなくて/なくしてはB

AしないでB。AがなければB。

*2級-91「AながらB」と類似。
みなさんの協力なくしては、完成させることはできませんでした。
失敗をおそれない勇気なくしては、新しいものを生み出すことはできない。
どうぞ一票を田中候補にお願いします。
涙なくしては語ることができないほど彼の半生は苦労の連続だった。

Aなしに/なしにはB

AしないでB。AがなければB

*1級-57「Aなしに/なしにはB」と類似。
飛行機は何の連絡もなしに、突然消息を断つた。
妻の協力なしには、事業の成功はありませんでした。
国の両親からの仕送りなしには、物価が高い日本での留学生活は続けられない。
地震は何の予告もなしに、突然襲ってくる。
X国はビザなしには、入国できない。

Aならでは/ならではの

Aだけにある。A以外にはない。

*1級-56「Aなくて/なくしてはB」と類似。
彼ならではのすばらしい作品だった。
当レストランならではの料理をお楽しみください。
居心地のよさ、行き届いたサービスは、このホテルならではの。
(居心地:そこに居やすいとか居にくいとかの気持ち)
大型画面ならではの迫力に圧倒される。

AなりB

AするとすぐにB。

疲れていたのか、夕飯を食べるなり、寝てしまった。
帰宅するなり、また出かけてしまった。
知らせを聞きなりショックで彼は座りこんでしまった。
お酒に弱いA君はビールをコップに1杯飲むなり寝てしまった
熱があるなら、薬を飲むなり、氷で冷やすなりしたほうがいいですよ。
入学願書は志望校へ電話をするなり、はがきを出すなりして、自分で取り寄せてください。

AなりBなり

AするかBするかして

すごい持ち物ですね。部屋が狭いのだからいらぬものは、人にあげるなり、捨てるなりしたらどうですか。
今日は天気がいいから、洗濯するなり、布団を干すなりしたほうがいいですよ。

AなりにB

Aとしての立場でB。A相応にB

*動詞(辞書形)+なり
*後ろに、命令、助言などの文が来ることが多い
私は私なりに将来のことをまじめに考えているつもりだ。
どんなに幸せそうに見えても、人にはその人なりに悩みがあるものだ。
同じ役でも違う俳優が演じると、その俳優なりに個性があっておもしろい。
若者は若者なりに、大人とは違った価値観で人生を真剣に考えているのだ。
年齢差が10歳違いの夫婦なんて驚くにあたらない。
最近では親子ほど年が違う結婚もめずらしくなくなった。
失敗したからといって落胆するにはあたりません。
最初は誰でもうまくいかないものです。
へそを出して歩いているからといって非難するにはあたらない。
あれも若者たちにすれば、自己を表現する手段なんだから。
今度の試験が悪かったからといって悲観するにはあたらない。

Aにあたらぬ/にはあたらぬ

Aするのは見当違いだ。Aする必要はない。Aしなくてもいい。

次の試験でがんばればいいじゃないか。
*【当たらない】
忙しい生活にあつて、ゆとりを持つことを忘れていているのは難しい。
どんなに厳しい状況にあつても、彼は笑顔を絶やさない。

AにあってB

B. 誰からも援助を得られない中であって、彼はひとりでがんばっている。
仕事があまくいかない状況にあって、どうしたらいいか、悩んでいる

Aに至る/至るまで/至って/至っては/至っても

①Aまで。②A(極限状態)にあって
登山口から頂上に至る(いたる)道は、よく整備されていて、歩きやすかった。
北部から南部に至る全地域で、テレビが見られるようになった。
死亡事故が発生するに至って、やっと信号機が設置された。
癌が全身に転移するに至っては、手術のしようがなかった。

Aにかかわる

Aに関係する/を左右する/に影響する。
あなたの将来にかかわることだから、進路についてはよく考えるべきだ。
医者や看護婦など医療にかかわる人たちは日曜も祝日もない。
命にかかわる病気ではありませんから安心してください
彼は福祉にかかわる仕事をしている。
米の収穫は、その年の天候に大きくかかわっている。
失業している彼が金に困っていることは察するにたたくない。
彼女が母親に死なれて、気を落しているだろうことは、想像するにたたくない。
テレビを見て育った子どもたちがテレビゲームに熱中するのは想像にかたくない。
田舎に住んでいる人が都会に憧れる心情は理解にかたくない。

Aにかたくない

簡単にAできる。

*「想像(する)」「理解(する)」などととも用いられる。
書き言葉的。

Aにして

①A(時間、場所、状況)の強調。
②Aでもできないのだから、それより程度の低いものは当然できない。
火事で家は全焼したが幸いにして、家族は全員無事だった。
今にして思えば、彼女には少し変なところがあった。
彼は3歳にして、ひらがなが全部読めるようになった。
クラスで一番成績のよい彼にして答えられない問題が私に答えられるわけがない。
先生にして解けない問題なのだから、私ができるわけがない。

Aに即して/即しては/即しても/即した

Aに合わせて、合って、合った。

現実(に)即して(そくて)考える。
政府には、実情(に)即した対応(を)してもらいたい。
事実(に)即して、討論しよう。
規定(に)即しても、君のほう(が)間違っている。

*最後の例文のように基準に従う意味の場合は「則」を用いる。

Aにたえる/たえない

①Aする価値がある/ない。②とてもAだ。(強調)

彼の論文は読むにたえないものだ。
ひどすぎる。
彼のスピーチは聞くにたえないものだった。
いじめを苦にした田中君の死は両親にとっては悲しみにたえないものだった。
大臣が誤解を招くような発言をしたことは、まことに遺憾にたえません。
あの人の言葉づかいは乱暴で聞くにたえない。

*②は「A(名詞)+にたえない」の形。

*あまりにひどくて、～できないというときにも使われる。
(最後の例文)

*①は、1級-70「Aに足る/足らない」と類似。

彼は信頼するに足(た)る人物だ。
田中さんには話しても大丈夫だ。
彼女は信用するに足る人だ。
そんなに小さなことは、論ずるに足らない。
取るに足らない話だ。
気に入るな。
予想どおり満足するに足る成績だった。

Aに足る/足らない

Aだけの価値が十分ある/ない。

*動詞は辞書形(信頼するに足る)。
名詞(信頼に足る)
*1級-69「Aにたえる/たえない」の①と類似。

AにひきかえB

Aと反対にB

昨年(に)ひきかえ、今年(は)暖冬だ。
何事(に)も娘(に)甘い父(に)ひきかえ、母(は)厳しい。
無口な兄(に)ひきかえ、弟(は)社交家だ。
田舎(で)見た夜空(の)星(の)数の多さは感動的(だ)った。
それ(に)ひきかえこの都会(の)夜空(の)星(の)少なさは……。

*【引き換え】

12月(に)なり、前(にも)益(して)して(まして)寒(く)なってきた。

入試(まで)あと2週間。
以前(にも)まして眠(れ)ない日(が)続(いて)いる。
猛暑(と)言(わ)れた去年(にも)まして、今年(の)夏(は)暑い。
前回(にも)まして、今回(の)テスト(は)難(し)かった。

こんなに親切(に)していただき恐縮(の)至(り)です。
ノーベル賞(を)いただき光栄(の)至(り)です。
あなたの度重なる親切(には)感謝(の)至(り)です。
先生(にお)ほめいただき、光栄(の)至(り)と感激(して)おります。
若氣(の)至(り)とはいえ、失敗(を)重ね、恥(ず)かしいです。
(若氣(の)至(り);若い人(の)無分別な気持ち(が)行き着(く)結果(を表)す慣用表現)
*1級-5「A限りだ」と類似。

AにもましてB

A以上にB

Aの至り

最高に、A(感情・気持ち)だ

Aの極み

Aが極限まで達している。もっともAだ。

自殺(して)親(より)先(にあ)の世(に)行く(ん)て、親(不)孝(の)極(み)だ。
最優秀作品(に)選ばれたこと(は)光栄(の)極(み)です。
金メダルこそスポーツ選手(にとって)栄光(の)極(み)だ。
詐欺(にあ)い、家(はお)ろか土地(まで)とられてしまった。

AはおろかB

AはいうまでもなくB(も)

事故(で)けが(を)して、走る(こと)はおろか歩く(こと)もできない。
彼は震災(で)家(はお)ろか、家族(まで)失(っ)た。
車で1時間(走)っても、その砂漠(地帯)には木(はお)ろか草(一本)生(えて)い(な)かった。

*2級-82「AどころかB」と類似。

お金(があれば)こそ、留学(できる)のです。
あなた(の)ことを思(え)ばこそ、忠告(して)いるのです。
親(は)子ども(の)ことを思(え)ばこそ、しかるのだ。
厳(し)くしつけ(る)のは子ども(を)愛(す)ればこそだ。

AばこそB

AからこそB。

*活用語の仮定形(文語では已然形)に付く。あとの説明を成立させるのに十分な理由を、前に提示する意を表す。

Aばそれまでだ

Aしたら、それで終わりだ。Aしたら何もない。

一生(懸命)船(して)も試験(に)落ち(て)しま(え)ばそれ(まで)だ。
いくら注意(して)も本人(に)それ(を)聞く(気)がなければそれ(まで)だ。
お金をたくさん持(っ)ていても、死(ん)でしま(え)ばそれ(まで)だ。
いくら性能(が)よい機械(でも)使(い)こな(せ)なければそれ(まで)だ。

ひとりAだけでな

く/ひとりAのみならず

Aばかりでなく

日米貿易摩擦はひとり両国のみならずはかの国にも大きな影響を与えている。
こみ問題はひとり日本だけでなく世界的な問題だ。

これより先、危険!入るべからず。
ペンキ塗り立て。
手を触れるべからず。
関係者以外入るべからず。
彼の行った不正は許すべからざる不法行為だ。
彼は会社にとって必要欠くべからざる人材だ。

Aべからず/べからざる

①Aしてはいけない。②Aすべきではない。

*①は禁止事項を表示(揭示)するときなどに使用。
定年退職後、海外に移住すべく今から準備を進めている。
英国へ留学すべく貯金をしている。
彼を見舞うべく、病院へ行った。
歌手になるべく歌のレッスンに通っている。

Aべく

Aするために。Aしようとして。

*【-可く】
Iグループ読む→読むべく
IIグループ食べる→食べるべく
IIIグループ来る→来るべく
する→するべく、すべく
ビールを飲んで騒ぐなんて高校生にあるまじきことだ。
飲酒運転をするとは、教育者にあるまじき行為だ。
患者の病状を他人にしゃべるなんて医者にあるまじき行為だ。
盗みをするなんて警官にあるまじき行為だ。

Aにあるまじき

Aとしてあるべきではない。Aとしてあってはならない。

*Aは人。
*【連語】《動詞「あり」の連体形+打消し推量の助動詞「まじ」の連体形。連体詞的に用いる》あつてはならない。不都合である。とんでもない。
せっかくここまで登ったが、なだれのおそれがあるなら、下山するまでのことだ。
給料が上がらないなら、会社をやめるまでだ。
近くを通りましたので、お寄りしてみましたです。
雨が降りはじめたが、傘がないのだから、しかたがない。
ぬれていくまでだ。

Aまでだ/までのことだ

Aだけだ、それ以上ではない。

*動詞+までだ/までのことだ
日本の首都はいうまでもなく、東京です。
試験は全然できなかったから発表を待つまでもなく不合格にきまっている。
陳さんはいうまでもなく中国人です。
A君は軽傷ですぐ退院するそうだから、みんなでお見舞いに行きまでもないだろう。
引越しいつても独身で荷物も少しだというから手伝いに行くまでもないだろう。
サッカーの選手は雨の中、泥まみれになってボールを追っている。
クーラーのない部屋で、汗まみれになって、作業をしている。
先日父は家の蔵から、ほこりまみれの家系図を見つけた。
大事故だったらしい。
血まみれのオートバイと車が現場に残されていた。

Aまでもない/までもなく

Aの必要がない。Aの必要もななく。

*名詞+まみれ【塗れ】
*2級-62「Aだらけ」と類似。
そんな子どもめいたことは言うな!
日一日と春めてきて、梅の花も咲き出した。
まじめに話しているとき、冗談めいたことは言うな。
夫婦なのに、他人めいたこと言わないでよ。

Aまみれ

Aが一面についてよごれている様子。

Aめく

Aのような/Aのようだ

*「Aめいてくる」の形で「Aらしくなる」の意味にも使われる。
*【接尾】《動詞五(四)段型活用》名詞、形容詞・形容動詞の語幹、副詞などに付いて動詞を作り、そのような状態になる、それに似たようすを示す意を表す。
このドラマはストーリーのおもしろさもさることながら、女優Xの演技で評判となっている。
このレストランの料理は味もさることながら、盛りつけが美しく目も楽しませてくれる。
アイドル歌手のYは、歌もさることながら、気さくな性格でも人気をとっている。
タクシーの運転手さんは運転技術もさることながら、お客さまへの応対も丁寧だ。
もう少しがんばればオリンピックに出られるものを、途中で放棄するなんて。
もう少し勉強すれば合格できたものを。
言ってくれば貸してあげたものを。
あなたがそのパーティーに出席すると知っていたら、私も出席したものを。

AもさることながらB

Aはもちろんだが、そればかりでなくB。

*Bを省略して言う形では、Aしなくて、残念だという気持ちを表す。
*活用語の連体形に付く。愚痴・恨み・不平・不満・反駁(はんぱく)などの気持ちを込めて、逆接の確定条件を表す。…のに、…けれども
帰宅するや、愛犬が飛びついてきた。
泥棒は、私の顔を見るや否や逃げ出した。
私に借金をしている山田さんは、私の顔を見るや言いわけを始めた。
ラッシュ時のホームではドアが開くや否や乗客が、どっと電車からなだれ出た。

AものをB

AのにB。

Aや/や否やB

AするとすぐB。AするかしないかのうちにB。

*2級-60「Aたとたん(に)B」、1級-10「Aが早いかB」と類似。
英国と日本は同じ島国であるがゆえに、両国の国民性は似ていると言われている。
日本は天然資源に乏しいがゆえに、工業原材料を海外からの輸入に依存している。
:
AはBに等しい。
BはCに等しい。
ゆえに、AはCに等しい。
(数学)

Aゆえ/ゆえに/ゆえのB

AのためB。AだからB。

病気ではなく年齢ゆえの眼の衰えと知って安心すると同時に老いを感じてしまった。
彼の新作はその斬新さゆえに攻撃され批判されている。
小さな子どもゆえ、失礼はお許しください。
欄相手は彼をおいてほかにほしくないと思ったから彼との結婚を決めました。
彼女を説得できるのは、Aさんをおいてほかに適任者はいない。
私の部屋に合うテーブルはこの白くて丸いのを置いてほかにない。
この役にぴったりの女優は彼女をおいてほかにいるだろうか(いなし、)。

AをおいてBない

A以外には、Bない。

*最後の例文で「尉彼女をおいてほかにいない」ということを実質的に言っている
今日を限りに、会社をやめます。

Aを限りにB

①Aを最後にBする。②Aを最大限Bする。

毎年夏休みは富士山に登っていたが、足も弱くなってきたし、今年を限りにやめようと思っている。
山で道に迷ってしまったようだ。
声を限りに叫んでみたが誰も答えなかった。

Aを皮切りにB

AをはじめにB。AをきっかけとしてB。

あの作家は直木賞受賞を皮切りに次々に文学賞を総なめにしていった。
この町の夏祭りは、花火大会を皮切りに3日間にわたっているいろいろな行事が行われる。
担当者の逮捕を皮切りに汚職事件の真相が次々と明らかになった。
今度のイタリア出店を皮切りに彼は、ヨーロッパに進出しようとしている。

Aを禁じ得ない

Aという気持ちをおさえることができない。

殺人犯に対する憎しみを禁じ得ない(きんじえない)。
疑惑(ぎわく)の渦中(かちゆう)にいた政治家がまた政権を握るとは、憤りを禁じ得ない。(渦中・事件の混乱の中)
詐欺(まがき)にあい土地まで取られてしまったそうだ。同情を禁じ得ない。
多くの国民に愛された喜劇俳優(きげき)の死に哀惜(あいき)の念を禁じ得ない。

*感情を表す名詞+を禁じ得ない
*2級-71「Aてしようがない」、2級-72「Aてたまらない」、2級-73「Aてならない」、2級-90「Aないではいられない」と類似。

AをもってB

①AによってB。AでB。②Aを区切りとしてB。

あの小説家は名文をもって知られる。
A先生に文書をもって正式に執筆を依頼した。
以上をもって会議を終わらせていただきます。
彼の誠実さをもってすれば、わかってもらえるだろう。

*「～をもってすれば、～」という形で、「～があれば、困難なことが実現できる」ということを表すこともある。
(最後の例文)

**Aをものともせず
にB**

Aを問題にしないでB。Aを気にしないでB。

コロンブスの乗った船は大荒れの海をものともせず(もともせず)に航海を続けた。
勇気ある青年は、燃えさかる火をものともせず(もともせず)に、火に包まれた家の中へ飛びこみ、子どもを助けた。
冬山救助隊はひどい吹雪をものともせず(もともせず)に、遭難者の救助のため山に入った。
彼は周囲の反対をものともせず(もともせず)、自分が正しいと思う道を歩み続けた。

*1級-97「AをよそにB」と類似。
1級-97が否定的な場合に使われるのに対して、積極的に何かする場合に使われる。
雨のため体育祭は中止を余儀なくされた。
震災で家を失った人々は避難所暮らしを余儀なくされた。
市の区画整理で今まで住んでいた場所が道路になることになり、引越しを余儀なくされた。
ダンスは政治的な理由から亡命と放浪の生活を余儀なくされたが、その中で『神曲』を完成させた。

**Aを余儀なくされる/
余儀なくさせる**

意志に反して、Aしなければならなくなる。相手の意志に反してAさせる

*【余儀】他のこと。他にとるべき方法。また、別の意見。
祖父は心臓が悪いのに家族の心配をよそに、よく旅行に出かける。
大学は学生の反対運動をよそに、学費の値上げを強行した。
学生は校則をよそに、スカートの丈を短くしている。
政府は農民の反対をよそに、米の輸入自由化を決定した。

AをよそにB

Aに関係なくB。Aを考えずにB。Aを気にしないでB。

1級-95「Aをものともせず(もともせず)にB」と類似。
1級-95が積極的に何かをする場合に使われるのに対して、否定的な場合に使われる。
試合に勝たんがため、日夜練習に励んでいる。
彼女は転職せんがために、学校に通って技術を身につけようとしている。
やせんがためにダイエットしている。
祖父は健康を維持せんがため、毎日散歩を欠かさない。

**Aんがため/んが
ために/んがため
のB**

AするためB。

*「ん」の前は「ない形」Iグループ泣く→泣かんがため
IIグループ食べる→食べんがため
IIIグループくる→こんがため
する→～んがため

**Aんばかりだ/ん
ばかりに/んばかり
の**

Aしそうだ/しそうにしそうな。

いたずらをした生徒は先生にしかられ、泣き出さんばかりだった。
今にも雨が降り出さんばかりの空模様になってきた。
子どもにお菓子をやったら、その子の母親に迷惑だと言わんばかりの顔をされた。
まるで私の話がうそだと言わんばかりに、彼女は鼻で笑った。

*「ん」の前は「ない形」Iグループ泣く→泣かんばかり
IIグループ食べる→食べんばかり
IIIグループくる→こんばかり
する→せんばかり